

写真のまち八戸

# 佐藤時啓－八戸マジックランタン－ 10月29日(土)展覧会が開幕



## 八戸で撮影した3つのシリーズ作品、合計125点を展示

本展覧会はカメラオブスキュラや長時間露光などの写真の原理や現象を利用して作品を制作する美術家・写真家の佐藤時啓(1957-)の個展です。「Camera Lucida」、「An Hour Exposure」、「Magic Lantern」の3シリーズからなる、合計125点の作品をご紹介します。また、移動式巨大カメラ「リヤカメラ」の運行や、段ボールでカメラを作るワークショップ、6年間の滞在制作と八戸での生活を振り返るトークイベントなどを実施します。

### ・記者会見・内覧会 (報道関係者の皆様向け)

内覧会 | 2022年10月28日(金) 13:00～14:30(時間内自由観覧)

記者会見 | 2022年10月28日(金) 14:00～14:30

その他 | 八戸ブックセンターで同時開催の「紙から本ができるまで展／佐藤時啓－八戸マジックランタン－展覧会図録ができるまで」も同日13:00～18:00に限りご覧いただけます。

## お問い合わせ先

八戸市美術館 031-0031 青森県八戸市大字番町10-4 TEL | 0178-45-8338(代表番号) FAX | 0178-24-4531  
E-mail | art@city.hachinohe.aomori.jp 八戸市美術館公式HP | <https://hachinohe-art-museum.jp>  
担当者(広報) | 大澤、山内



# 佐藤時啓－マジックランタン－ 概要

|              |  |
|--------------|--|
| 企画名称         | 佐藤時啓－八戸マジックランタン－   |
| 会期           | 2022年10月29日(土)－2023年1月9日(月・祝)  |
| 会場           | 八戸市美術館(ホワイトキューブ、ブラックキューブ)  |
| 開館時間         | 10:00－19:00 ※1月2日(月)～1月4日(水)は10:00－17:00   |
| 休館日          | 毎週火曜日 年末年始(2022年12月31日、2023年1月1日)<br>※ただし、2023年1月3日(火)は開館  |
| 観覧料          | 一般800円(650円)、大学生・専門学生400円(300円)、高校生以下無料<br>※11月3日(木祝、文化の日)、12月24日(土)は無料  |
| 観覧料割引        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・( )内は、20人以上の団体料金</li> <li>・八戸市内および近隣町村(三戸町、五戸町、田子町、南部町、階上町、新郷村、おいらせ町)の65歳以上の方、障がい者手帳をお持ちの方とその付添者1名は半額</li> <li>・近隣の有料駐車場を利用していることがわかる駐車券等の提示により、運転者1名分に団体割引を適用</li> <li>・フリーパス「かおパス」の販売があります。「佐藤時啓展」に限り、何度でもご覧になれます。一般1,200円、高校・大学生600円</li> <li>・毎日17時以降の観覧は半額</li> </ul> |
| 主催           | 八戸市美術館   |
| 協賛           | 株式会社ニコン  |
| 協力           | 三菱製紙株式会社   |
| 後援           | 青森朝日放送、青森テレビ、青森放送、コミュニティラジオ局BeFM、デーリー東北新聞社、東奥日報社、八戸市教育委員会、八戸テレビ  |
| 撮影協力         | 大平洋金属株式会社、八戸鉱山株式会社、八戸セメント株式会社  |
| 担当学芸員        | 齊藤未来、高橋麻衣  |
| 会場構成         | 佐藤慎也、日本大学理工学部佐藤慎也研究室   |
| 会場グラフィックデザイン | 野村浩  |



左 | 佐藤時啓《An Hour Exposure Fune #7》2017年 右 | 佐藤時啓《On the Rocks #10》2021年



# 会期中のプロジェクト

## 1. プロジェクト「リヤカーメラに乗ってみよう」

移動式巨大カメラに乗って、景色を楽しむプログラム。  
アートファーマー(プロジェクトスタッフ)が走行を運営しま  
す。

日程・会場 | ① 2022年10月9日(日)八戸公園、

② 11月6日(日)八戸市美術館

時間 | 各 10:30 ~ 15:00 参加費 | 無料 申込 | 不要



## 2. トークイベント「マジックランタンと八戸ハウス」

撮影の拠点となった「八戸ハウス」での生活を作家が振り返ります。

日時 | 2022年12月3日(土)14:00 ~ 15:30 会場 | 美術館ジャイアントルーム

講師 | 佐藤時啓 参加費 | 無料 定員 | 50名 申込 | 要予約、電話またはメール

## 3. ワークショップ「段ボールカメラ」

小中学生を対象に、段ボール箱で不思議なカメラを  
つくるワークショップです。

日程 | 2022年12月4日(日)10:30 ~ 15:00

会場 | 美術館ワークショップルーム

講師 | 佐藤時啓 参加費 | 無料 定員 | 10組

対象 | 小・中学生(小学生以下保護者同伴)

申込 | 要予約、電話またはメール



## 4. 市民写真展「八戸フォトマッピング」

佐藤時啓展と合わせて開催する写真展。市民の視点でとらえた八戸の風景を展示します。

日程 | 2022年12月18日(日) ~ 2023年1月9日(月・祝) 会場 | 美術館ギャラリー1・2

## 5. 学芸員によるギャラリートーク

日時 | 2022年11月19日(土)、12月17日(土)17:00 ~ 18:00

参加費 | 無料 ※要覧覧会チケット 申込 | 不要

# 同時開催企画「紙から本ができるまで展／佐藤時啓－八戸マジックランタン－展覧会 図録ができるまで」 概要

八戸市では、アートのまちづくり施策として、美術館が「写真のまち八戸」を、八戸ブックセンターが「本のまち八戸」を推進する展示やイベントを行ってきました。今回、この2つの施策を横断する企画として、八戸ブックセンターでは、美術館が開催する展覧会の図録制作に焦点を当てた展示を行います。

|        |  |
|--------|--|
| 企画名称   | 紙から本ができるまで展／佐藤時啓－八戸マジックランタン－展覧会図録ができるまで                    |
| 会期     | 2022年10月29日(土) - 2023年1月9日(月・祝)10:00 - 20:00 ※日・祝は19:00閉館  |
| 会場     | 八戸ブックセンター(ギャラリー)   |
| 休館日    | 毎週火曜日(ただし2023年1月3日は開館)、年末年始(2022年12月29日、30日、31日、2023年1月1日) |
| 観覧料    | 無料   |
| 主催     | 八戸ブックセンター (Tel 0178-20-8368)                               |
| 協力     | 三菱製紙株式会社   |
| 展示デザイン | 野村浩  |
| 展示制作   | 松本知己   |

## 図録概要

図録タイトル | 八戸マジックランタン佐藤時啓

テキスト | 佐藤時啓、飯沢耕太郎、伊藤俊治、平野啓一郎、齊藤未来

編集 | 松本知己

翻訳 | ジョエル・デカント、シャノン・モラレス、スチュアート・エアー、ホール香子

デザイン | 野村浩

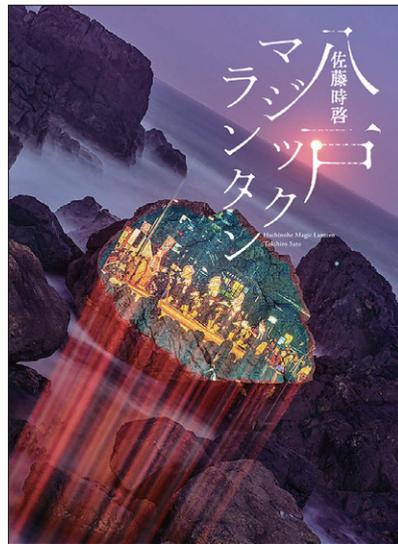
印刷・製本 | 株式会社山田写真製版所

発行 | 八戸市美術館

制作・発売 | T&M Projects

販売価格 | 税込 3,960 円

ISBN | 978-4-909442-37-6



© Hiroshi Nomura

# 佐藤時啓展 企画のポイント

## 1. 長期にわたり八戸市で制作した作品を展示。

佐藤時啓は、写真装置の原理への興味や驚きを出発点に、ピンホールカメラやカメラオブスクラ、長時間露光などを駆使し、光・時間・空間・身体などをテーマにした独創的な写真表現に取り組んでいる美術家・写真家です。本展では、2016年から6年という長い期間に八戸に滞在して制作された、祭りや漁港、名勝地などの風景を重ね合わせ、地域に潜在する歴史や文化的意識を想起させる作品群、《Magic Lantern》シリーズ、《Camera Lucida》シリーズ、《An Hour Exposure》シリーズを紹介します。

### 出品予定作品

#### • 《Magic Lantern》シリーズ

ろうそくやランプの光とレンズを利用して、ガラスに描かれた絵を投影する装置「マジックランタン(幻燈機)」から着想を得て、八戸三社大祭や八戸えんぶりといった八戸の代表的な祭りを、工場や港、種差海岸の岩などに投影し、新たな風景として撮影したシリーズ。闇の中に投影された光跡を見ることは、佐藤の作品を一貫する「対象物に光によって触れる」ことに繋がる。



《On the Sea #15》「Magic Lantern」シリーズより 2021年

#### • 《Camera Lucida》シリーズ

地面に散った桜の花びらの上に、頭上の桜の木が重なるように撮影されたシリーズ。19世紀に発明された描画補助器具であるカメラルチダの構造を自作して撮影。



《Sakura on Sakura #10》「Camera Lucida」シリーズより 2018年

#### • 《An Hour Exposure》シリーズ

佐藤の代表作である「光-呼吸」シリーズから続けている長時間露光で撮影したシリーズ。60分露光が可能なPhaseOneというデジタルバックを使用し、1時間という時間の単位で祭りや港に停泊する漁船、種差の風景などを撮影。出来事が、一瞬の形を止めるのとは逆に、平均化されたぬめりのような風景に変容する。



《An Hour Exposure Matsuri #1》「An Hour Exposure」シリーズより 2019年



## 2. 三菱製紙の紙で写真集を制作・販売。八戸ブックセンターでの関連展示も開催。

本展展示作品を収録した図録(写真集)を、八戸にも工場を有する三菱製紙の紙も使用して制作。また、この図録の制作過程を紹介する「紙から本ができるまで展」を八戸ブックセンターで、三菱製紙八戸工場と連携して開催します。

## 3. 展覧会に先行して、カメラオブスクラのプロジェクトを実施、プロジェクトメンバーと運営しています。

カメラの原理構造であるカメラオブスクラを荷台に乗せたリヤカーに、自転車を組み合わせた移動式巨大カメラ「リヤカーメラ」の運行プロジェクトを実施します。

## 4. 無料観覧日や 17 時以降の観覧に半額割引などを実施。

文化の日であり、八戸市美術館の開館1周年記念日となる11月3日(木・祝)、また、クリスマススイブの12月24日(土)は、無料で観覧できるスペシャルデーに設定します。また、仕事終わりなどに気軽に観覧できるよう、17時以降の観覧料を半額にします。※割引やフリーパスは、重複しての適用はできません。

# アーティストプロフィール 佐藤時啓



## 佐藤 時啓 SATO Tokihiro

1957年山形県酒田市生まれ。美術家・写真家。1981年東京藝術大学美術学部彫刻科卒業、1983年同大学大学院美術研究科修士課程修了。1993年メルセデスベンツ“アートスコープ”グランプリ受賞、2015年第65回芸術選奨文部科学大臣賞受賞、第31回東川賞国内作家賞受賞。現在、東京藝術大学美術学部先端芸術表現科教授。「第6回ハバナ・ビエンナーレ」(1997)「第9回バンガラデシュビエンナーレ」(1999)ほか、多くのグループ展や国際展に参加するほか、Leslie Tonkonow Gallery(ニューヨーク、2019)、HAINES Gallery(サンフランシスコ、2010)、Piet Hein Eek(オランダ、2019)、Micheko Gallery(ミュンヘン、2021)などの画廊や、酒田市美術館(1999)、シカゴ美術館(2005)、Frist Center for the Visual Arts(ナッシュビル、2010)、東京都写真美術館(2014)、鶴岡アートフォーラム(2015)などの美術館にて個展開催。



# 広報用画像



a



b



c



d



e



f



g



h



i

- a 佐藤時啓《An Hour Exposure Fune #7》「Magic Lantern」シリーズより 2017年  
 b 佐藤時啓《On the Rocks #10》「Magic Lantern」シリーズより 2021年  
 c, d, キャプション不要  
 e ©Hiroshi Nomura  
 f 佐藤時啓《On the Sea #15》「Magic Lantern」シリーズより 2021年  
 g 佐藤時啓《Sakura on Sakura #10》「Camera Lucida」シリーズより 2018年  
 h 佐藤時啓《An Hour Exposure Matsuri #1》「An Hour Exposure」シリーズより 2019年  
 i キャプション不要

広報用画像をご希望の方は、【1. 会社名 / 組織名、2. 媒体名・媒体の種類(雑誌、テレビ、webなど)、3. ご担当者名、4. ご連絡先、5. 掲載／放送予定日、6. 画像到着希望日、7. ご希望の写真が掲載されているプレスリリースの発行日、8. ご希望の写真記号】をメール、または FAX に明示の上、下記、お問い合わせ先までご連絡ください。

## [画像の貸出条件]

- 画像は本企画・美術館の紹介の目的のみにお使いいただけます。• 画像データは第三者へ譲渡せず、使用后すみやかに消去してください。
- 画像のトリミングについては事前にご相談ください。• 作品画像の上に図や文字を重ねることはできません。
- 画像を掲載、放送する際には、指定のクレジット表記を必ずいれてください。• 画像を掲載、放送する前に、ゲラ等掲載案をお送りください。担当者が確認します。• 新聞紙、雑誌、書籍等の印刷物に画像を使用する際は、八戸市美術館に1部ご寄贈ください。

## お問い合わせ先

八戸市美術館 031-0031 青森県八戸市大字番町10-4 TEL | 0178-45-8338(代表番号) FAX | 0178-24-4531  
 E-mail | art@city.hachinohe.aomori.jp 八戸市美術館公式 HP | https://hachinohe-art-museum.jp  
 担当者(広報)|大澤、山内